

愛と誠 (2012)

メディア 映画

ジャンル 青春 ロマン스 ミュージカル

製作国 日本

色彩 Color

時間 134分

初公開日 2012/06/16

公開情報 角川映画＝東映

映倫 PG12

【キャッチコピー】

天使が悪魔に恋をした

【解説】

梶原一騎・ながやす巧による往年の大ヒット漫画を「クローズZERO」「ヤッターマン」の三池崇史監督、「悪人」の妻夫木聡、TV「Wの悲劇」の武井咲主演で実写映画化した痛快エンタテインメント・ムービー。手の付けられない不良青年の主人公が繰り広げる喧嘩の日々と、そんな主人公に心奪われた世間知らずなお嬢様が捧げる一途な純愛の行方を、迫力のバイオレンス描写と懐かしの昭和歌謡をフィーチャーしたミュージカル・シーンを織り交ぜたパワフルにして大胆不敵な演出で描き出す。

1972年の新宿。ブルジョア家庭の令嬢・早乙女愛は、幼い頃に雪山で助けられた“白馬の騎士”太賀誠と運命の再会を果たす。すっかり札付きの不良になっていた誠は上京早々、不良グループと乱闘を繰り広げ、少年院送りに。そこで愛は、彼を更正させようと両親に頼んで自分が通う名門青葉台学園に編入させる。そんな愛の献身的な努力も誠にとっては単なるお節介でしかなく、すぐに問題を起こして退学となり、不良のたまり場、花園実業へと転入する。すると今度は、誠を追って愛も転校してしまう。さらに愛への一方的な想いを貫くメガネ優等生・岩清水弘、誠に一目惚れのスケバン、ガムコ、誠と心を通わせていくミステリアスな女子高生・高原由紀らも加わり、愛と誠の運命はますます混沌としていくのだが…。

【クレジット】

監督	三池崇史	
製作	池田宏之	
	藤岡修	
	遠藤茂行	
	平城隆司	
	奥野敏聡	
	阿佐美弘恭	
	木下直哉	
	伊藤秀裕	Hidehiro Ito
	堀義貴	
企画	土川勉	
	伊藤秀裕	Hidehiro Ito
エグゼクティブプロデューサー	井上伸一郎	
	椎名保	
プロデューサー	杉崎隆行	
	鷲頭政充	

	坂美佐子	
	山崎美春	
アソシエイトプロデューサー	石綿智巳	
ラインプロデューサー	今井朝幸	
アシスタントプロデューサー	鈴木智子	
企画協力	高森篤子	
	永安福子	
原作	梶原一騎	『愛と誠』
	ながやす巧	
脚本	宅間孝行	
脚本協力	高橋美幸	
CGIディレクター	太田垣香織	
撮影	北信康	
美術	林田裕至	
編集	山下健治	
振付	パパイヤ鈴木 Papaiya Suzuki	
音響効果	柴崎憲治	
音楽	小林武史	
主題歌	一青窈	『愛と誠のファンタジア』
		『笑っててくれよ』
エンディングテーマ	かりゆし58	
照明	渡部嘉	
録音	中村淳	
装飾	坂本朗	
スタントコーディネーター	辻井啓伺	
	出口正義	
製作担当	野崎竜一	
	島根淳	
特別協力	真樹日佐夫	
助監督	加藤文明	
出演	妻夫木聡	太賀誠
	武井咲	早乙女愛
	斎藤工	岩清水弘
	大野いと	高原由紀
	安藤サクラ	ガムコ
	前田健	先生
	加藤清史郎	太賀誠（幼少期）
	一青窈	早乙女美也子（特別出演）
	余貴美子	太賀トヨ
	伊原剛志 Tsuyoshi Ihara	座王権太
	市村正親	早乙女将吾
	叶高	
	内野智	
	馬場徹	
	大槻博之	

長谷川公彦
亜矢乃
山田真歩
渡邊紘平
黒石高大
戸井智恵美
日向寺雅人
青木健
藤沼剛
山入端佳美
菊池明明
菊地廣隆
夏目鈴
木村亜梨沙
河村春花
日下雄一朗
鈴木ゆき
石田健
小林麗菜
春名友美
ホリケン。 Horiken
能見達也
右門青寿
山内健嗣
幸将司
福沢重文
小川陽平
椋田涼
平野貴大
栗島瑞丸
河井誠
伊藤優衣
板倉チヒロ
宇野まり絵
米持茜
水野綾子
高橋俊次
吉田大蔵
吉岡三四郎
青木映樹
向雲太郎